



検査・処置・手術安全部会

2020 年度活動報告

2020 年度検討テーマ

会員病院のニーズや社会情勢などを踏まえ、毎年「検査」「処置」「手術」に関連したテーマを選び、有効な対策について検討している。2020 年度の主なテーマは「画像診断レポート」について、伝達エラーの予防に会員病院が取り組むための意識づけや実現可能な取り組み方を提案すること、さらに手術室と病棟間の引き継ぎ (Hand-off) に関する問題を明らかにし、改善へのヒントを発信することとした。

部会員一覧

(敬称略・五十音順)

◎=部会長、○=副部会長

五十嵐 裕章	社会医療法人河北医療財団 河北総合病院
粕谷 敦	豊田地域医療センター
亀森 康子	自治医科大学附属 さいたま医療センター
萱島 道德	公益社団法人 日本臨床工学技士会
菊地 龍明○	公立大学法人 横浜市立大学附属病院
黒川 美知代	武蔵野赤十字病院
西條 文人	東北大学病院
佐々木 庸浩	医療法人社団愛友会 伊奈病院
長谷川 隆一◎	獨協医科大学埼玉医療センター
安田 あゆ子	藤田医科大学病院

活動報告

セミナーの実施

- ・第1回 検査・処置・手術安全セミナー
「Hand-off 手術部門からの引き継ぎ・情報伝達を考える」
11月28日(土)開催(オンラインセミナー)
> [開催報告](#)

成果・発表内容等

- ・転倒・転落予防の標語の表彰と公開
> [2020 年度応募作品 転倒・転落予防の標語](#)
- ・報告書の発行
> [画像 \(CT\) 診断レポートの確認 患者を守る「5つの取り組み」の提案](#)

総括

2020 年度から「Hand-off、手術部門からの引き継ぎ・情報伝達を考える」に取り組み、米国 Joint commission での Sentinel Events 分析とアンケート結果に見る引き継ぎのエラーを踏まえて、米国周術期看護協会 (AORN) の Hand-Over Process や Alexander care of the patient in surgery のコミュニケーション戦略を参考にしながら引き継ぎの標準的な方法の提案、受け手側に有用なツールの開発などについて 2021 年度も議論を深めていく。

また処置時の鎮静に対する安全管理として、鎮静ハンズオンセミナーで用いた教材を院内で活用していただくため、講義内容を冊子にまとめたものを準備中である。

転倒・転落に関する標語は 81 施設から 371 句もの応募をいただき、優秀作品を表彰した。これもひとえに会員病院の皆様のおかげであり、部会員を代表して心より感謝申し上げます。

2021 年度も引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

(部会長・長谷川 隆一)